



## ～ドンマイエピソード 受賞 10 作品～

高校 1 年の頃、人生で初めてバイトした和洋菓子屋さん。クリスマスケーキの予約だけでお店に入りきらないほど積んであり当日もある分は販売していました。

「予約をしてなかったけど買えるかしら」とお孫さんの手を引いたおばあさん。最後のひとつ！良かった！全て売り片付けてると女将さんが「ここにあった見本のケーキは!？」と…。私が最後に売ったのは見本のケーキでした。そこへ 1 本の電話「ケーキが切れないのよ」とおばあさん。真っ青になってる私にマスターは「サンプルを作った人は職人冥利に尽きるなあ」と心の広さに救われました。

忘れもしない中 2 の冬、念願のアイスケーキを買って貰ったクリスマス。以外と食べられず残りは冷凍庫にも入らない。そこで父が放った一言が「外に置いておけ」。冬の北海道、その手があったかと言われた通り外へ。次の日楽しみに開けると、原型を保つこと無くシェイクなみの食べ物に。父は「発砲に入れたままじゃダメだべさ～」って、初めに言ってよお父さん！でも、ドンマイ私！溶けたなりに小分けにし、冷凍庫に入れて全部食べました！

子どもたちが小さかった頃、主人の実家に連れて行ったときのこと。

義父がおもちゃも扱っているスーパーに行こうと言うので、クリスマスも近いことだし、おもちゃを買ってくれるのだと子供も私も期待して行きました。

せっかくなので、少々お高めのおもちゃを物色し、義父のもとに行くと、「買ってやれ」、と私に。

え～っ!!おじいちゃんが買ってくれるんじゃないの～!?と内心驚きましたが、子どもたちは気に入ったおもちゃを手につきりその気になっているので、置いてきなさいとも言えず…。勘違いによるトホホな出来事でした。

クリスマスの存在をまだ理解できていなかった当時3歳の娘。

「いい子にしてたら好きな物がプレゼントしてもらえるよ。」と教えてあげたら、大好きな「ウィンナーとバナナ」をサンタさんをお願いしました。25日の朝、本当にウィンナーとバナナがプレゼントされてビックリ。嬉しそうにウィンナーとバナナを抱える写真を親戚中に笑われている現在10歳の娘は、プレゼント選びは毎年真剣です。

私が小学生の時、クリスマスの朝は起きてすぐにプレゼントがあるか確認するほど、クリスマスプレゼントが楽しみでした。ある年のクリスマスも同じように朝起きてすぐプレゼントを確認し、ワクワクしながら箱を開けました。が、中身がありません。どういことかわからず、驚きと悲しさでリビングまで走って行くと、5つ離れた兄が私が欲しかったゲームで遊んでいました。兄は私のプレゼントを勝手に開けて遊んでいたのです。弱肉強食とはこのことか、と…。それからは、クリスマスの日は誰よりも早く起きるようになりました。

うちの長男はケーキ店でアルバイトしています。24日にサンタクロースの衣装を着て極寒の中、店外でクリスマスケーキを販売してたそうで店長に「ケーキを全部売ることが出来たら、この衣装をおまえにクリスマスプレゼントしてあげる」と言われたそうで、お見事！完売させ衣装をもらったそう。

長男は「この衣装を着て告白しに行く」と想いを伝えにその夜極寒の中、片想いの子に会いに行きました。サンタの衣装で勇気が出たのだと思います。待ちわびましたが見事フラれ帰宅しました。息子よ、ドンマイ！明日があるさ。メリークリスマス！

子供の頃に母とクリスマスパーティーの準備をしていたとき、人生で初めての手作りクッキーに挑戦していました。大人ぶりたいお年頃だった私。可愛いクッキーを作ろうと意気込んだ結果、ベーキングパウダーを入れ忘れて、生み出した産物は煎餅のように硬いクッキーでした。

必死にかじっているうちにトッピングもボロボロ崩れてみるも無残な姿に…  
母と笑った良き思い出となっています(笑)

中学生の頃のクリスマス、家族みんなは出掛けてしまい私は一人留守番をする事に。

中々帰ってこない家族を待つ間、クリスマスパーティーで食べる予定の大きなホールケーキを一口パクリ…甘い物が大好きな私はすごくおいしくてどんどん食べ進んでしまいました。半分ほど食べてしまった頃でしょうか。何だか気持ちが悪く頭痛もしてきました。夕方に家族が帰ってくる頃にはケーキを食べ過ぎてしまい体調不良に。クリスマスケーキも半分程しかなくなってしまい家族はびっくり！その後は1人で寝込んだクリスマスとなりました。

クリスマスイヴの話になりますが、家事を速攻で済ませ、さあ！クリスマスプレゼントを買いに行くぞ！と車に乗ってエンジンをかけた途端に車が故障！？ウンともスンとも言わず、動かなくなり大ショック！！？（泣）

「クリスマス（イヴ）なのになぜ?!」と真冬なのに冷や汗ダラダラ～

すぐに車屋さんに連絡し、急なお願いにも関わらず、代車を持ってきてくれました。車屋さんがまるでサンタさんのような偉大な存在に感じた、そんな忘れられないトホホなクリスマス（イヴ）でした。

私の誕生日は、12月25日(クリスマス)

妹の誕生日も同じく12月25日(クリスマス)

プレゼントは、毎年クリスマスと一緒に、年1回、なんで？友達はみんな誕生日と、クリスマス年2回プレゼントもらえるのに～と両親に言ってだだをこねた記憶があります。

しかも妹と誕生日が、一緒なので、ケーキはまとめて年1回！3回食べられるところ、1回？ととっても損した気分になってたな～と子供の頃を思い出しました。両親は、まとめて1回で済むので、経済的だったんだな～と！

なんだかんだ誕生日兼クリスマスは楽しみでした。